

ガバニングボード（第101回） 議事要旨

1. 日 時 令和5年3月23日（木） 10:10 ～ 11:10

2. 場 所 中央合同庁舎8号館 6階 623会議室

3. 出席者

総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）議員

篠原議員（座長）、上山議員、梶原議員、佐藤議員、波多野議員、梶田議員

内閣府

覺道審議官、井上審議官、高原審議官、次田参事官、須藤プログラム統括、植木参事官、
小林PD、安西PD、堀PD、田中PD、持丸SPD、越塚SPD、

川上戦略コーディネーター、宇井企画官、根本参事官、東出参事官、鈴木企画官

オブザーバー

内閣官房科学技術顧問 橋本和仁

4. 議 題

(1) SIP第2期プログラムディレクターからの最終成果報告について

- ・スマートバイオ産業・農業基盤技術
- ・ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術
- ・国家レジリエンス（防災・減災）の強化
- ・スマート物流サービス

5. 配布資料

資料1 説明資料（スマートバイオ産業・農業基盤技術）

資料2 説明資料（ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術）

資料3 説明資料（国家レジリエンス（防災・減災）の強化）

資料4 説明資料（スマート物流サービス）

参考資料1 最終成果報告書案（スマートバイオ産業・農業基盤技術）

参考資料2 最終成果報告書案（ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術）

参考資料3 最終成果報告書案（国家レジリエンス（防災・減災）の強化）

参考資料4 最終成果報告書案（スマート物流サービス）

6. 非公開理由

議題（1）について、非公表資料を用いた議論を含むため、非公開とした。

7. 議 事

- (1) S I P第2期の「スマートバイオ産業・農業基盤技術」について、小林プログラムディレクターよりS I P第2期の5年間での研究開発成果及び社会実装成果の報告を受けて、S I P第2期終了後の社会実装に向けた取組の方向性に関して議論した。

S I P第2期の「ビッグデータ・A Iを活用したサイバー空間基盤技術」について、安西プログラムディレクターよりS I P第2期の5年間での研究開発成果及び社会実装成果の報告を受けて、S I P第2期終了後の社会実装に向けた取組の方向性に関して議論した。

S I P第2期の「国家レジリエンス（防災・減災）の強化」について、堀プログラムディレクターよりS I P第2期の5年間での研究開発成果及び社会実装成果の報告を受けて、S I P第2期終了後の社会実装に向けた取組の方向性に関して議論した。

S I P第2期の「スマート物流サービス」について、田中プログラムディレクターよりS I P第2期の5年間での研究開発成果及び社会実装成果の報告を受けて、S I P第2期終了後の社会実装に向けた取組の方向性に関して議論した。

須藤プログラム統括より、S I P第2期の5年間を通して各課題ともPDのマネジメントにより出口戦略が立てられていったことに感謝の意を表した。一方で、S I P第2期では、事業開始の事前に計画期間が十分に取れなかった点や社会実装を見据えた戦略が事業途中からしか検討されなかった点について、制度の見直しが必要であったことを述べ、S I P第3期では、事前に制度設計を行ったことで、フィージビリティスタディの実施や事業開始時点から社会実装に向けた戦略を立てて進めることができていることを説明した。併せて、第2期の成果を踏まえた関係省庁での取組について、社会実装を加速するためにB R I D G Eを活用して支援していく方針が示された。

ガバニングボードより、各PDに対し、これまでの取組について謝意が示されるとともに、研究成果の社会実装に向けて引き続き協力、支援いただくよう依頼があった。また、ガバニングボードや内閣府としても、関係省庁や産業界との連携などについて支援していくとの方針が示された。

以上